



# 第22回岩手大学 COEフォーラム

岩手大学 21 世紀 COE プログラム「熱 - 生命システム関連学拠点創成」では、関連分野において国内外で活発に研究をされている方をお招きしてセミナーを開催しています。今回は、発展途上国において 4 番目に生産量の多い重要主食作物であるバナナを材料に、国際バナナ-プランテーション・ネットワーク (INIBAP) の一員として、国際食料機構 (FAO) の援助のもと、世界のバナナの遺伝子資源保存を積極的に推進しているリューベン・カトリック大学 (ベルギー) 熱帯作物育種学教室のお二人の方に、バナナ研究の現状と展望、世界の食糧供給について紹介していただきます (講演は英語でなされます)。なお、講演要旨は COE ホームページ ([www.iwate-u.ac.jp/coe/coeforum.html](http://www.iwate-u.ac.jp/coe/coeforum.html)) でご覧いただけます。

お忙しいとは思いますが、万障繰り合わせの上、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

第 22 回担当・岩手生物工学研究所  
寺内 良平 ([terauchi@ibrc.or.jp](mailto:terauchi@ibrc.or.jp))

日時：2005 年 11 月 9 日 (水) 17:00 ~ 19:00  
場所：岩手大学農学部 2 番講義室

**Prof. Dr. Rony Swennen**

(Laboratory of Tropical Crop Improvement, Katholieke Universiteit Leuven, Belgium)

**Conservation and Use of *Musa* Biodiversity  
for Improving Livelihoods**

**Dr. László Sági**

(Laboratory of Tropical Crop Improvement, Katholieke Universiteit Leuven, Belgium)

**Expression of Foreign or Native Genes  
in the Banana Genome**